

こんにちは！千田みつ子です

第63回日本母親大会に全国から1万人以上が参加！

8月19日から20日にかけて、第63回日本母親大会が盛岡市で開催され、全国各地から延べ1万7百人が参加しました。

地元実行委員長にJ A岩手県女性組織協議会長の高橋弘美さんが就任

岩手県での開催は29年ぶりとなりますが、県内すべての市町村と教育委員会が後援し、J A岩手県女



日本母親大会で全国各地の多彩な運動が報告されました

性組織協議会長の高橋弘美さんが地元実行委員長に就任するなど、画期的な大会となりました。

25の分科会と被災地訪問、全体会は、岩手に縁のフォトジャーナリスト安田菜津紀さんが講演

初日は、医療・介護・子どもと教育、農業・漁業など、25のテーマに分かれて分科会が開催されました。また、大会2日目の全体会は、花巻農業高校の鹿踊りで幕開けし、達増卓也岩手県知事、谷藤裕明盛岡市長、金野耕治岩手労連議長が来賓挨拶を行い、会場から大きな拍手がおくられました。

フォトジャーナリストの安田菜津紀さんは、カンボジア・被災地・シリアの取材を通して感じた様子を写真とともに紹介し、平和・いのちの尊さ、日本は9条を持つ国だからこそ世界から信頼されている等と語りました。

北海道・東北6県議会議員研究交流大会で (仮称) 地域医療基本法を説明

8月30日、秋田市を会場に開かれた北海道・東北6県議会議員研究交流大会には、約140名が参加し、①人口減少対策②医療提供体制の確保・充実③地域産業の競争力強化の3つの分科会に分かれて議論が交わされました。千田みつ子県議は医療の分科会に参加し、岩手から参加した4名の県議を代表して、深刻な医師不足の現状と課題について発表を行いました。



母親大会の全体会で披露された“盛岡さんさ踊り”には、大きな拍手がおくられました。

各県の報告後、さらに医師不足などについて意見交換が行われましたが、千田県議が報告した「(仮称) 地域医療基本法」について、東北・北海道が力を結集してその成立に努力していくことが、課題解決につながる！と座長がまとめていただき、発表した者として嬉しかったと感想を寄せています。



岩手の地域医療の現状を報告する千田みつ子県議